

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立深谷商業高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	「至誠・士魂商才」の校訓の下、歴史と伝統を踏まえた学校像である。学校の置かれた状況や課題を的確に把握した上で、県内の商業高校で最も古い歴史を持つ学校として生徒・保護者・地域の期待に応えるものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	教職員や学校関係者の意見や要望、様々な資料を参考に、中期的な目標が設定されている。生徒の資格取得、進路実現などにおける成果を踏まえた上で、更に取り組みべき課題を析出して、より高いレベルでの生徒の育成を目指すものとなっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	重点目標の達成に向けて必要な評価項目が挙げられている。学校自己評価システムを更に適切に運営するために、連鎖を意識した、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備し、学科・分掌・学年・教科の連携を強化して教職員の参画を促進していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	生徒のビジネス実践力を高めるため、学力の向上や資格取得に向けて様々な方策が実施され、全国トップクラスの資格取得者数など継続的かつ安定した成果を上げている。方策や評価指標が教職員間で達成イメージを共有できるものとして工夫されており適切なものとなっている。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の中・長期的な課題を析出し、生徒の主体的な学びを促す指導の充実などに向けて、教職員一人一人の能力を生かして組織的に取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、更に教職員が共通理解を深め、参画意識を高めて、目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、学校の現状や取り組むべき課題を把握し、改善策を示している。評価運営委員会を軸に、学科・分掌・学年・教科と学校全体の連携を意識した、より組織的なPDCAサイクルを確立して具体的な取組を進めていただきたい。	
特記事項			